

地域を支えるだけでなく未来の防災を作る存在をPR!

みなさんは「消防団」がどのような活動をしているかご存じですか？名前は知っているけれど説明は難しいという方も多いと思います。実際に消防団の方々の活動を見学することや参加することを通して消防団について詳しくなりません。そして消防団の魅力を一緒に発信していきましょう！

メンバー数：5名  
活動場所：伊勢市  
実施主体：伊勢市消防本部  
担当教員：池山 敦（教育開発センター）  
活動年度：R05, R06, R07



1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

今年度も昨年度に引き続き、伊勢市の消防団員及び消防職員の方々とともに消防団活動への参加を通して消防団についての理解を深めることができました。

○伊勢まつりのブース運営  
小学生以下の子どもとその保護者を中心に楽しんでもらえるようにボール転がしゲームを作成した。年齢による不公平が出ないように話し合い、実践、修正を繰り返すことで多くの方に楽しんでもらえた。また、伊勢まつりという多くの方が集まる場所での活動は消防団についてPRする良い機会になった。

○消防団副読本  
小学校の授業等で使ってもらえる内容にすることを意識した。また、小学生がこの副読本を読むことで消防団について興味を持ってくれるようにクイズを入れたり、写真やイラストを多く取り入れたりするなどの工夫をした。

○チラシ作成  
チラシを見た人に消防団の活動に協力していただくことを目的として作成した。また、「地域の安心は一人ひとりの支えから」というキャッチフレーズをつけることで自分自身が無関係だと考えずに一人ひとりが意識を高めてほしいという意味を込めることができた。

○アンケート調査  
アンケートに回答していただく対象を具体的に考え、アンケートを設置する場所や景品の配布など工夫をすることで多くの方に回答していただけた。想定していたよりも多くの方に回答していただけたことで消防団に対する意識を様々な視点から知ることができた。

●反省点  
学生の授業等の兼ね合いにより、学部ごとの会議・活動が中心になってしまった。そのため、学生間の情報共有等を行う機会が少なく、学生全員での活動、成果を上げることができなかった。また、アンケート調査の結果など本活動によって得られた成果をどのように活用していくのかも話し合っていく必要がある。

活動を通して学んだこと

消防団の方々がやっている活動についての理解  
消防団の認知度やイメージ

実施主体からのコメント

伊勢市消防本部  
ご担当者様

この度は、消防団の活性化に向けた活動にご協力いただき、誠にありがとうございました。  
大学生の皆さんの新鮮な視点や前向きなアイデアのおかげで、消防団の活動がより身近に感じられ、多くの方に魅力を知っていただくきっかけとなりました。その結果、実際に消防団の増員にもつながり、地域防災の力が一段と強まったことを大変うれしく思っております。

地域のことを思い、真剣に取り組んでくださった皆さんの姿勢に、私たち実施団体一同、大きな励ましをいただきました。

今回の経験が、皆さんにとっても心に残るものとなり、今後の学びや挑戦につながっていくことを願っています。

改めて、積極的なご活動に心より感謝申し上げます。



担当教員より

教育開発センター 池山 敦

一年間、活動お疲れ様でした。祭りのブース運営や副読本作成といった多角的なアプローチにより、実際に消防団の活動のPRのお手伝いできたことは皆さんの取り組みにとどまらず、大学の地域貢献として意義深いものであると考えています。一方で学生間の情報共有やアンケート結果の活用という課題は、活動をさらに深めるために、今後も継続して改善、取り組んでいかなければならない点だと思います。これを活かして次年度以降も活動がさらに前に進むことを期待しています。



- ・消防団に興味がある人
- ・消防職員などの公務員に就きたい人
- ・学外の方とも交流したい人

成果物 / 制作物



月別活動

- 6月 キックオフ会議
- 7月 企画会議
- 8月 企画会議
- 9月 企画会議
- 10月 伊勢まつりブース運営
- 12月 企画会議
- 1月 企画会議
- 3月 活動報告会